

業 務 委 託 仕 様 書

1 委託業務名 管路管理システムデータ更新業務委託

2 履行場所 千葉市緑区平川町2210番地

3 契約期間 契約締結日の翌日から令和8年3月31日迄

4 目的

本仕様書は、千葉市水道局（以下、「発注者」という）が発注する「管路管理システムデータ更新業務」（以下、「本業務」という）の仕様について定める。

5 業務の履行

受注者は、本業務を履行するうえで委託契約書及び本仕様書に基づき実施する。

6 一般事項

- (1) 本業務委託の履行にあたり、仕様書等の設計図書や関係法令により、品質等の確保に万全を期すとともに、誠実に履行すること。
また、従事する職員の賃金の支払いや労働条件についても、最低賃金法などの労働関係法令を遵守すること。
なお、法令の遵守について、発注者から書類等の提出を求められたときは、ただちに提出すること。
- (2) 本市では、環境負荷を低減するため、千葉市環境マネジメントシステム（C-EMS）により、省資源・省エネルギーの推進、3R（発生抑制、再使用、再生利用）の推進及びグリーン購入の推進等をする取組を行っており、本業務を履行するうえで、可能な限り環境に配慮すること。
また、本業務に従事する職員の環境に関する研修を実施するとともに、発注者から環境配慮に関する書類の提出を求められたときは、ただちに提出すること。
- (3) 本業務委託の完了時に完了確認が可能な書類を提出すること。
- (4) 受注者は、仕様書等の設計図書に記載なき事項で業務を履行上必要なものについては、発注者と協議のうえ本業務委託の範囲で行うこと。
- (5) 本業務委託の支払請求は、業務完了検査合格後所定の手続きに基づき行うことができる。

7 中立性及び機密保持

- (1) 受注者は、特定の企業や製品に偏らず中立性を保持し、発注者にとって最善の選択となるよう努めなければならない。
- (2) 受注者は、本業務を行う上で知り得た機密を他に漏らしてはならない。
- (3) 受注者は、本業務における個人情報を無断で持ち出すことを禁止する。
- (4) 受注者は、委託契約書に記載する個人情報取扱特記事項を把握し遵守する。
また、下記の項目に関する書類について、発注者から書類等の提出を求められたときは、ただちに提出すること。
ア 情報セキュリティ関連の認証（情報セキュリティに関する信頼度）
イ 品質管理の認証（品質管理に関する信頼度）
ウ 情報セキュリティに対する取組み（社内規定等）
エ 個人情報取扱責任者の明確化（情報漏えい、不正利用の防止）
オ 情報セキュリティに関する教育（従業員に対するセキュリティ教育）
カ 記録媒体の適正管理（記録媒体の保管及び運用管理）

8 主任技術者及び技術者

- (1) 主任技術者は、技術士（上下水道部門）の資格を有するものとし、業務の全般にわたり技術的監理を行わなければならない。
- (2) 受注者は、配水施設などの水道施設の計画・設計等に関して相当の経験を有する技術者をもって、業務を遂行しなければならない。
- (3) 受注者は、水道事業のシステム化に関して相当の経験を有する技術者をもって、業務を遂行しなければならない。

9 作業計画書類

受注者は、本業務の着手にあたり、次の書類を提出し、発注者の承認を得なければならない。

- (1) 着手届、主任技術者選任届
- (2) 作業計画書
- (3) その他発注者が必要とする書類一式

10 資料の貸与

- (1) 本業務に必要な資料は、必要に応じて発注者より貸与または提供する。
- (2) 受注者は貸与された資料の借用記録簿を備え、管理に十分留意するとともに、本業務が完了したときは、速やかにこれを発注者に返却しなければならない。

11 打合せ、協議

- (1) 受注者は、本業務の遂行にあたり、発注者と綿密な打合せ、協議を行って業務を遂行しなければならない。
- (2) 現地の調査及び諸官庁その他関係機関との連絡調整にあたり、必要に応じて監督員の指示する職員が立ち会うものとする。
- (3) 受注者は、打合せの都度、議事録を作成し、発注者の確認を得なければならない。

12 成果品

- (1) 受注者は、業務完了時に成果品の審査を受けなければならない。
- (2) 受注者は、成果品の審査において受注者の責任による瑕疵が発見された場合、直ちに修正を行わなければならない。
- (3) 本業務の成果品の所有権は、発注者に帰属するものとし、発注者の承諾なく公表・貸与してはならない。

13 疑義

本仕様書に定める事項について、疑義が生じた場合、または本仕様書に定めのない事項については、発注者と受注者双方協議の上解決にあたらなければならない。

14 業務内容

本業務は、発注者の「管路管理システム」（以下、「本システム」という）の「データ入力マニュアル」に基づきデータの更新及びシステムの調整等を行うもので、本システムは、水道GIS、電子ファイリングシステムの総称とする。

作業回数及び時期については、委託期間のなかで、発注者と協議のうえ決定する。

(1) 打合せ、協議

初回打合せ、最終打合せの合計2回の打合せ、協議を行うものとする。

(2) データ更新

A) 給水台帳属性整備（給水装置工事精算書：1097件）

電子ファイリングシステムに対し、給水装置工事精算書のデータ登録を行う。

B) 電子ファイリング登録（給水装置工事精算書の裏表及び参考図：719ファイル）

発注者にて解像度200dpiでスキャンした給水装置工事精算書（給水装置工事精算書の裏表及び参考図）データを電子ファイリングシステムから閲覧できるよう調整する。なお、スキャンした給水装置工事精算書データのファイル名は、データ更新業務を依頼する時期に別途発注者から指示するものとする。

C) 給水施設（給水装置工事精算書：183栓）のベクトル化

受注者は『データ入力マニュアル』を基に給水施設のデータ更新を行う。その際、発注者・受注者が緊密に連絡をとりデータの正確性保持に努めるものとする。

D) 水道施設属性整備（配水管工事等：9件）

電子ファイリングシステムに対し、配水管工事のデータ登録を行う

E) 電子ファイリング登録（竣工図：94枚）

発注者にて解像度200dpiでスキャンした竣工図データを電子ファイリングシステムから閲覧できるよう調整する。なお、スキャンした竣工図データのファイル名は、データ更新業務を依頼する時期に別途発注者から指示するものとする。

F) 水道施設（管路延長：約1.7km）のベクトル化

受注者は『データ入力マニュアル』を基に水道施設のデータ更新を行う。その際、発注者・受注者が緊密に連絡をとりデータの正確性保持に努めるものとする。

G) 既存整備分のデータ修正（105件）

受注者は図形・属性の修正を行う。

(3) 配水系統整備

ネットワーク追跡機能により、配水系統毎のブロック境界バルブの位置を確認する。また変更された領域に含まれる管路及びメータの配水系統の変更も行う。

A) 千葉市水道局ホームページ公開用配管図の整備

発注者により提供される仕様で千葉市水道局ホームページに公開する配水管図を整備し、また成果物として作成する。

仕様：・緑区、若葉区それぞれの配水管の管網図を出力する。

- ・紙への出力は無く、PDFのみの出力とする。
- ・成果物のサイズはA0、A2とする。
- ・「配水管」のみの管網図、「導水管」「送水管」は無しとする。
- ・配水管の管口径を記載する。
- ・配水管の口径別の色指定は「青」とする。
- ・バルブの記載は無しとする。
- ・公共施設注記対応（浄水場、公共施設（小学校・中学校）注記のデータを整備する）
- ・PDF作成作業（現行の配水系統図をベースとし、HP配管図用に表示内容を切替えPDFファイルを作成する）
- ・町名注記対応（新規で町名注記データを整備し、配水管口径や町名の文字被り、配水管との文字被りはしないよう、文字を位置調整する）
- ・隣接配水管の位置調整（新規で配水管・配水管注記をデータ整備する）

B) 配水系統別出図、口径別消火栓付図の整備

発注者により提供される仕様で成果物として作成する。

仕様：・緑区、若葉区それぞれの配水管の管網図を出力する。

- ・紙、PDF形式として提出する。
- ・成果物サイズはA0、A2とする。
- ・配水管のほか導水管、送水管を記載する。
- ・配水管の管口径を記載する。
- ・配水管系統別出図は系統別に色指定はありとする。

- ・口径別消火栓出図にはバルブと消火栓位置を記載する。
 - ・口径別消火栓出図は口径別に色指定はありとする。
- (4) 料金及び水量データの取込
CDCアクアサービス㈱から受領した料金及び水量データを本システムに登録する。
- (5) 背景図の更新
道路管理センターのデータ登録
発注者より提供される道路管理センターの地形、道路データを水道GISに登録する。
なお、データの取込時期については発注者と受注者双方協議の上決定する。
- (6) 報告書作成
本業務の内容、結果等について業務報告書を作成する。
- (7) 現場作業
ア 整備データのセットアップ
登録・調整の完了したデータを発注者の指示に従い導入する。作成したデータ及び調整したシステムを発注者の指定するパソコンに反映させ動作確認を実施し、正常に稼動することを確認する。なお、整備データのセットアップ作業は窓口営業時間（平日9時～17時）以外の時間帯で実施する。
- イ データ保存用メディアの作成
作成したデータをバックアップ用のメディアに保存し、バックアップを作成するものとする。
- (8) 公開用データの出力
本市にて管理する統合型GISへ水道管網図データを連携させるため、更新後の管網図データを「.shp」形式にて提出するものとする。なお提出データのレイヤーはこちらで選べるものとする。

1.5 成果品

- (1) 業務報告書 2部
- (2) 配水系統別出図
ア A0（若葉区） 1部
イ A0（緑区） 1部
ウ A2（若葉区） 2部
エ A2（緑区） 2部
- (3) 口径別出図（消火栓・排水栓位置付）
ア A0（若葉区） 8部
イ A0（緑区） 7部
ウ A2（若葉区） 1部
エ A2（緑区） 1部
- (4) 千葉市水道局ホームページ公開用配管図 緑区1部 若葉区1部
- (5) システム操作マニュアル 1部
- (6) データ保管用メディア 一式